

元気で歩こう会 玉川上水を下る NO.3 20. 12. 20



甦る水100選に選ばれた玉川上水は17世紀に江戸の人口増加のため、飲料水確保と新田開拓のためのかんがい用として全長42キロの水路が開削された。昭和49年に環境保全のために下水処理水を活用することが検討され始め、61年に清流が復活した。

玉川上水駅⇒こもれびの足湯⇒小川橋⇒
創価学園⇒鷹の橋⇒鷹の台駅 約4キロ

玉川上水駅を少し川沿いに下ると左の写真の小さな滝にお目にかかる。



この上水は昭和40年までは、そのまま淀橋浄水場への導水路として使われていた。



淀川浄水場が廃止されたあと、小平監視所より下流は水がとだえていたが、61年に清流復活となる。



羽村堰から上水を下りながら、兩岸の石積の堤防を見てきたが、鷹の台近くなつてからは随所に粘土質が見られるようになった。掘削の難儀さが偲ばれる。



38名もの参加者が花小金井駅の改札口前に人垣をつくる。

玉川上水駅近くで、恒例の自己紹介と準備運動、コース説明を終えて出発。



先人達のご苦勞の恩恵をうけ、天然の落ち葉でできたカーペットを踏みしめながら、整備された兩岸の緑道を、ゆつくり、語らいながら歩く。



途中、足湯までもあり、ウォーカ一達に、優しさと安らぎを与えてくれる。



紅葉も終わりかと思っていたら、小平中央公園でサザンカとモミジがコラボで迎えてくれた。



久々の野外パーティならぬ昼食会である。直ぐ側が本日のゴールである鷹の台駅であるという安心さと、冬らしくない暖かさもあって大いにつろぐ。



元気な姿を写真に収め、平成20年の最後の「元気で歩こう会」も納会である。

ヴェトナムのお二方、元気で完歩しましたね。また参加してください。

みなさん 1年間、よく頑張りましたね。